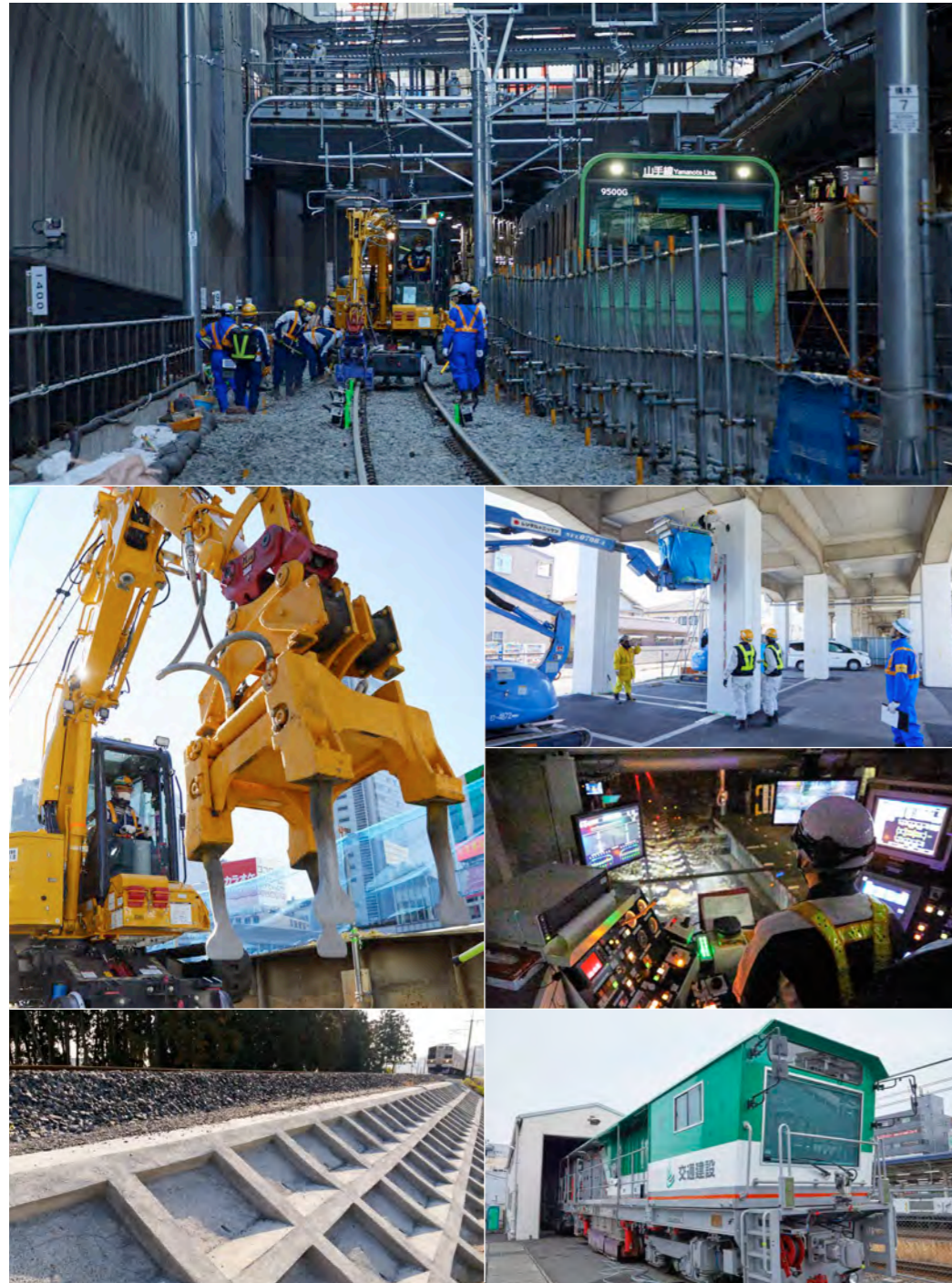


展示ブースの機械に関する動画、詳しい資料は
当社ホームページからご覧いただけます▶▶▶



KOTSUKENSETSU

レールとともに



第10回 鉄道技術展

次週(11月18日⑤・19日⑥)のJR渋谷駅線路切換工事は当社が軌道工事を担当します



株式会社 交通建設

<https://www.kotsukensetsu.jp>
本店 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-4-1



株式会社 交通建設

JR東日本パートナー会社

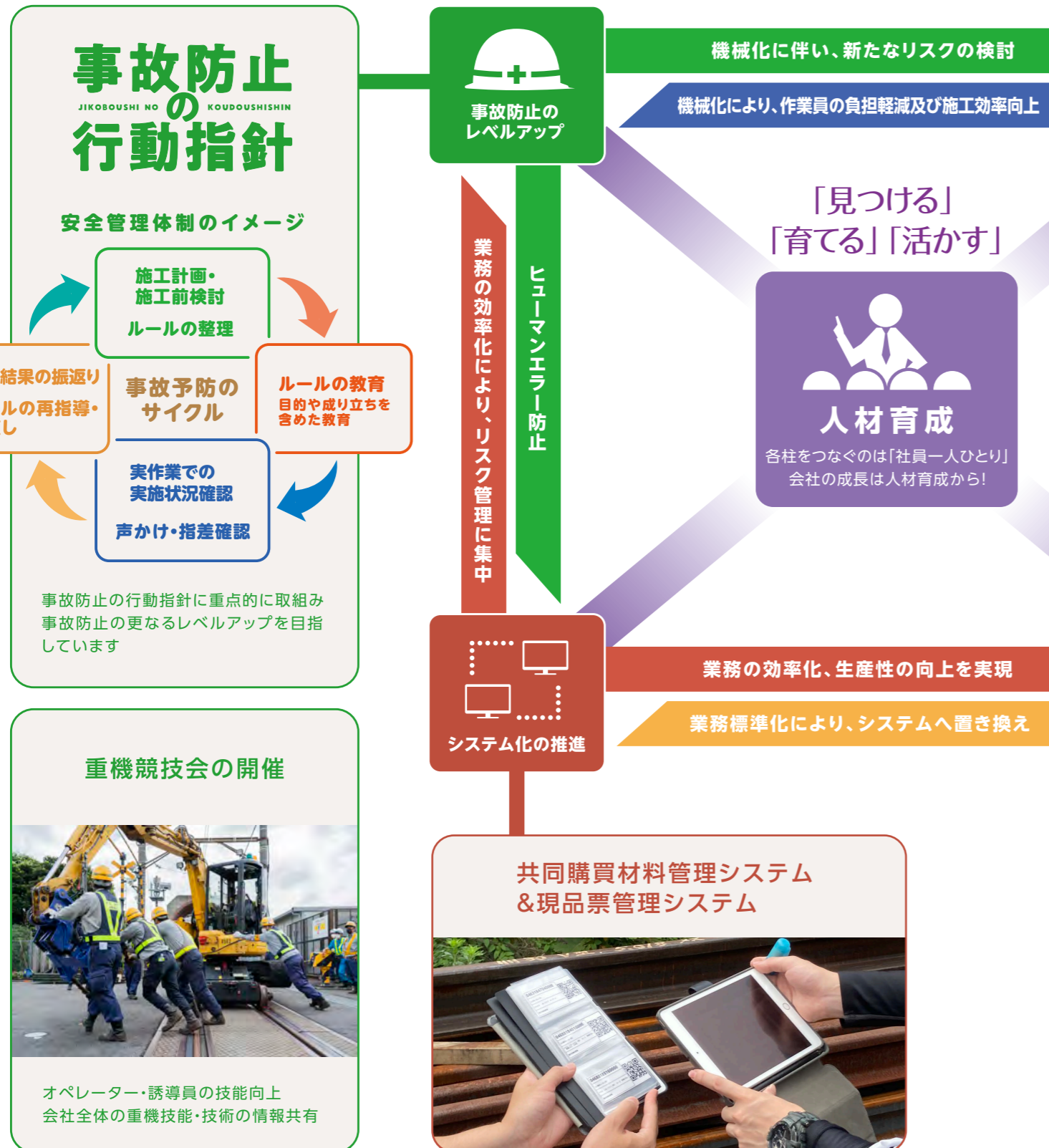


会社ホームページ

交通建設では事故防止のレベルアップは勿論、 持続可能な鉄道保守業務を担っていきます。

交通建設では経営方針5本柱に掲げる【機械化の推進】【システム化の推進】【業務内容の見直し】から、
“重労働の無い現場”“労災の起きにくい現場づくり”を目指し、作業員の負担軽減と施工効率の向上を実現させます。

現場と一体となった技術開発・機械化・システム化で



G4-II
 バックホアタッチメント
 〈グリッパ&四頭タイタンパ〉

**B4
B-FOUR**
 バックホアタッチメント
 〈バケット&四頭タイタンパ〉

**FC
電動脱着機**
 「ファーストクリップ締結装置」を
 電動機械で扱い作業効率を大幅に向上!

その他の開発品
 様々な開発により、作業員の負担軽減
 及び施工効率の向上を実現しています

施工の効率化・コストダウン
 ホームドア整備工事における
 ホーム先端タイルの開発



バックホーアタッチメント
〈グリッパ&四頭タイタンパ〉



マクラギをつかむ、
道床を突き固める、
の一台二役。

現場の声を取り入れた進化で分岐器作業へ本格参入を目指す!



四頭タイタンパが自在に本数変更可能!
分岐器周辺の狭い場所の突き固めに活躍!



アタッチメントが回転するので
隣接線からの作業も可能に!



フレームの設計を一から見直し剛性が
飛躍的に向上

バックホーアタッチメント
〈バケット&四頭タイタンパ〉



砕石を掘る、
突き固める、
の一台二役。

「掘る」と「突き固め」を1つにしたB4がさらに進化!
日々の道床作業の定番に



バケットの側面をボルトレスでフラットな形状に。
レール際まで確実に掘削可能



バケット形状の見直しでより多くの砕石を
一度に掘削可能



免振技術を採用し、高い静粛性を実現



ファーストクリップを
電動で「締める」「外す」。

「ファーストクリップ締結装置」を
電動機械で扱い作業効率を大幅に向上!



締める

外す

導入により少人数で安全な作業を実現

人力作業では多くの作業員を必要とする。
また、作業員が隣接線側に体重移動するため、
治具が外れると隣接線に出てしまう可能性があった。



大人数作業になる



隣接線へ作業員が出てしまう



FC電動脱着機は軌道に沿って作業可能なため、
安全性が飛躍的に向上する。機械化により少人数作業も実現。

その他の開発品



油漏れストッパー
油圧ホースの油漏れはこれで止める



バッテリー式犬クギ抜き機
犬クギ抜き機の煩わしいコードを無くしました



レールストレッチャー
レールを広げて接続軌道(踏切)の施工が可能



橋マクラギ山越器
橋マクラギ交換の重労働を軽減



軌陸車バックレーザ
軌陸トラックを載線させる際の目印



ミニ重機運搬用トロ
小型重機も簡単に線路内へ運べます

ホームドア整備工事におけるホーム先端タイトルの開発

JR東日本では、2008年よりホームドア整備工事を順次進めています。

これまで、ホームドア支柱設置時にホーム先端タイトルの部分を部分的に研り撤去し施工していたことから、時間を要しタイトルの損傷を与えるなどの課題がありました。今回、上記課題を解決するために「切欠きホーム先端タイトル」を開発することで、工期を短縮し、コストダウンに結び付けることができました。

従来はタイル敷設後、カッター切断し内側を研り出していた



ホームドア支柱取付位置



切欠きホーム先端タイトルの設置



高さ調整カンバーの設置



蓋タイル用の合板設置



蓋タイトルの取付完了

土木工事の取り組み事例

山手線・埼京線が輻輳する渋谷での人道橋架替工事

JR山手線恵比寿・渋谷間における四反道跨線人道橋の架替工事です。

地上には山手線・埼京線、地下近傍には東急東横線が輻輳する厳しい条件下で施工しています。第1期工事では、既設人道橋の階段を一部撤去し、現在は、既設下部工の撤去中であり、今後、新設する跨線人道橋の下部工構築、上部工架設と、鋭意施工を進めていきます。



完成予想図



既設階段撤去状況



既設階段撤去状況

中央快速線グリーン車導入ホーム延伸工事

JR中央快速線東京・大月間と青梅線立川・青梅間では、グリーン車サービスに向けて、現在の10両編成から12両編成へ増結されることから、高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪、吉祥寺、三鷹、武蔵境、国分寺、西国分寺、国立、東中神、中神、昭島、福生の計14駅でホームの延伸工事を実施しました。下の写真は三鷹駅の写真です。



基礎施工状況



PC床板敷設完了



完成



材料の管理を紙からタブレット(二次元コード管理)に変えました

材料受入から払出、棚卸まで一連の材料管理をシステム化

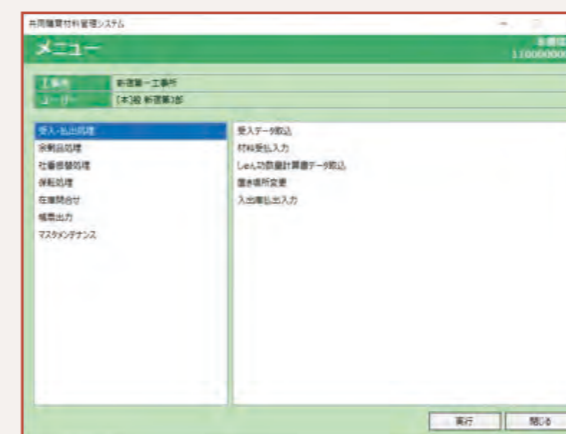
共同購買材料管理システム & 現品票管理システム

現品票による紙管理からiPad管理へ。
全ての材料を二次元コードで管理、
現場に行かなくてもiPadで在庫状況が確認できます。



共同購買材料管理システム

材料受入、払出、使用実績管理、余剰品管理



現品票管理システム

出庫、入庫、検索、棚卸

